

コンクリート製 下水道施設の長寿命化を実現する

『シートライニング工法』が注目を集める

JERRコンクリート補改修協会

JERRコンクリート補改修協会（兵庫県神戸市西区南別府一―四一六）の長寿命化に貢献する専門技術者集団である。

・日本シツコウ(株)内、同展示会で紹介された〇七八―九七七―〇七〇〇は、七月三十日、八月二日まで東京ビッグサイトで開催された「下水道展」で、下水道施設の防食工法を紹介し、注目を集めた。

同協会は、下水道処理施設や管路施設、上水道関連施設などの水処理施設のコンクリート防食を図る認定工法他、農業用水路、橋梁関連施設、港湾施設など各種コンクリート構造物の補修・改修技術を提供することに

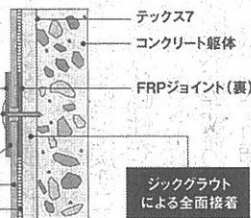
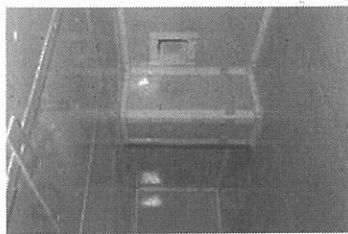
より、社会資本ストックの長寿命化に貢献する専門技術者集団である。同展示会で紹介された下水道施設の補修・延命に最適なコンクリート防食工法をいくつか紹介すると――

「シートライニング工法」は、コンクリートの躯体全面にビニルエステル樹脂を用いたFRP成型板（シツクボード）もしくは紫外線硬化型シートを接着することによってコンクリート製の下水道施設の防食を図り、延命化させる工法である。

成型板・シートが安定して接着することにより、優れた耐硫酸性や遮断性などを付与する同工法は、コンクリートの腐食が進む環境下ながら点検・補修・改築が困難で、メンテナンスフリーが求められる下水道施設に最適な防食工法となっている。

同工法には用途・施工場所に応じて数タイプの工法がラインナップされている。そのいくつかを

シツクボード工法シリーズの施工例



シツクボードGRR工法の施工断面図

紹介すると――

「シツクボードGRR工法」は、自地を表面と裏面のFRP成型品および耐食性シール材の三重構造とすることで、応力集中による目地部の損傷を防止する優れた耐久性機能を付与する工法である。20数年の施工実績を有する同工法は、併用施設の追跡調査結果と促進試験の結果から竣工から50数年経過しても接着安定性・耐硫酸性・遮断性を維持することが検証されており、耐用年数50年間

確保している。

「シツクボードT工法」

は、コンクリート躯体または断面修復後に無機質系モルタルを塗布し、塗布直後にシツクボードを圧着してコンクリート躯体と全面接着させる工法。体と全面接着が不要なため工期が短縮することができ、上、湿潤面や高湿度下でも施工できる。

「シツクボードS工法」は、コンクリート躯体に素地調整材を施工した後、特殊ガラス短繊維補強材を配合したビニルエステル樹脂を素地調整面とシツクボード裏面に塗布。塗布直後にシツクボードを貼り付けてコンクリート躯体に全面接着させる

「シツクボードK工法」は、下水道処理施設の新設時にシツクボード2mmを型枠に取り付けてコンクリート躯体に直接接着する工法。型枠脱型時にシツクボードの貼付けが完了しているので大幅に工期を短縮する。また、塗布型ライニング工法では、新工法のシツクボードVE工法」が注目を集めた。



<https://www.jerr.jp>